

第63回全日本実業団バドミントン選手権札幌大会出場割当

平成25年 2月 2日
日本実業団バドミントン連盟

[1] 出場割当数

地区 ブロック	支部名	H24年度 登録数	出場割当数		
			基本数	追加数	合計
北海道	北海道	21	1	3	4
東北 9 31	青森	未登録	1	0	1
	岩手	1	1	0	1
	宮城	22	1	3	4
	秋田	1	1	0	1
	山形	未登録	1	0	1
	福島	7	1	0	1
	関東 28 157	茨城	7	1	1
栃木		9	1	1	2
群馬		5	1	0	1
埼玉		14	1	2	3
千葉		10	1	1	2
東京		71	1	10	11
神奈川		41	1	5	6
山梨		未登録	1	0	1
北信越 10 42	新潟	8	1	1	2
	長野	1	1	0	1
	富山	14	1	2	3
	石川	12	1	1	2
	福井	7	1	1	2
東海 12 61	岐阜	3	1	0	1
	静岡	1	1	0	1
	愛知	35	1	5	6
	三重	22	1	3	4

地区 ブロック	支部名	H24年度 登録数	出場割当数		
			基本数	追加数	合計
近畿 17 90	滋賀	3	1	0	1
	京都	20	1	2	3
	大阪	45	1	6	7
	和歌山	未登録	1	0	1
	兵庫	21	1	3	4
	奈良	1	1	0	1
中国 9 33	岡山	10	1	1	2
	広島	14	1	2	3
	山口	7	1	1	2
	島根	1	1	0	1
	鳥取	1	1	0	1
四国 6 22	愛媛	10	1	1	2
	香川	10	1	1	2
	徳島	1	1	0	1
	高知	1	1	0	1
九州 11 28	福岡	22	1	3	4
	大分	未登録	1	0	1
	長崎	2	1	0	1
	佐賀	未登録	1	0	1
	熊本	1	1	0	1
	宮崎	未登録	1	0	1
	鹿児島	1	1	0	1
	沖縄	2	1	0	1
総合計		485	47	59	106

(注1) H24年度登録数は、H25年 2月 2日現在

(注2) 出場割当数は、日本実業団バドミントン連盟規約細則による。

(注3) 男子と女子の割当数は、同数とする。

(注4) 各地区ブロックには、右の特別枠(男女共)を割り当てる。

(注5) 開催地ブロックは、特別割当数とする。

[2] 地区ブロック特別枠

北海道	4	東海	8	九州	4
東北	4	近畿	12	合計	66
関東	20	中国	4		
北信越	6	四国	4		

[2] 推薦チーム(63回大会)

【男子の部】

優勝	日本ユニシス(東京)
準優勝	トナミ運輸(富山)
3位	NTT東日本(東京)
3位	日立情報通信エンジニアリング(神奈川)
ベスト8	宇部興産(山口)
ベスト8	南那須精工(栃木)
ベスト8	JR北海道(北海道)
ベスト8	ジェイテクト(愛知)
ベスト16	タダノ(香川)
ベスト16	北都銀行(秋田)
ベスト16	丸杉(岐阜)
ベスト16	東海興業(愛知)
ベスト16	セーレン(福井)
ベスト16	三菱自動車京都(京都)
ベスト16	トヨタ自動車(愛知)
ベスト16	トリッキーパングース(大阪)

【女子の部】

優勝	パナソニック(大阪)
準優勝	日本ユニシス(東京)
3位	岐阜トリッキーパングース(岐阜)
3位	ルネサス(熊本)
ベスト8	北都銀行(秋田)
ベスト8	三菱電機(兵庫)
ベスト8	広島ガス(広島)
ベスト8	NTT東日本(東京)
ベスト16	ヨネックス(東京)
ベスト16	七十七銀行(宮城)
ベスト16	トヨタ自動車(愛知)
ベスト16	山陰合同銀行(島根)
ベスト16	ACT SAIKYO(山口)
ベスト16	日立化成(茨城)
ベスト16	豊田通商(愛知)
ベスト16	岡山ガス(岡山)